

学生
無料



分科会No.19

関係性から見るボランティア

～『ボランティア拒否宣言』が訴えかけるものとは～

「繋がりが変わると、世界の見え方も変わる」

SNSで誰とでも簡単に繋がれる時代だからこそ、“顔が見える関係”を大切にしたい。僕たち学生にとって身近になったボランティアという存在。その奥には、**支援者・被支援者**という垣根を超えた、人と人が繋がりなおす瞬間があるかもしれません。学生限定の分科会だからこそ話せる経験や気づき、時には悩みを持ち寄りながら、ボランティアの本質とその奥にある人との繋がりを捉えなおします。

2.8 日 13:30-15:30



メンター：細野瑞希
(NPO法人アクションポート横浜理事/元学生スタッフ)

青山学院大学コミュニティ人間科学部卒。
学生時代にアクションポート横浜の学生スタッフとして活動し、若者が地域で挑戦できる場づくりや、地域と若者をつなぐ中間支援の魅力に出会う。現在は同法人の理事として団体の運営に関わりつつ、本業では地域活動交流コーディネーターとして、地域の資源発掘、伴走支援、ネットワーク形成など、世代や分野を問わず地域の課題や“やりたい”を形にする場づくりに取り組んでいる。

進行：海野 遼（東京理科大学3年）

対象：高校生以上の学生(ボランティア経験の有無を問わない)

費用：学生無料

場所：飯田橋セントラルプラザ

詳細：裏面に記載

■ 日時・会場・参加費

- 分科会名：関係性から見るボランティア～「ボランティア拒否宣言」が訴えかけるものとは～
- 日 時：2026年2月8日(日) 13:30～15:30
- 参加方法：飯田橋セントラルプラザ4階・都民連会議室
- 定 員：会場30名



■ 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO 2026について

「分科会19:関係性から見るボランティア～「ボランティア拒否宣言」が訴えかけるものとは～」はく市民社会をつくるボランタリーフォーラムTOKYO2026>の分科会の一つです。このフォーラムでは、暮らしの中から見えてきた社会課題について、私たちに何ができるのかと一緒に考えていきます。今年のテーマは「これからを変える、挑戦を。～Action&Imagination～」です。みなさまのご参加をお待ちしています。

■開催期間 2026年2月7日(土)～8日(日)

■会 場 飯田橋セントラルプラザ・オンライン(Zoom)・ほか

■参 加 費 1分科会1,000円

会場参加・フィールドワークの3分科会以上は3,000円(オンラインへの変更不可)

*学生(専門学校含む)または18歳未満の方は無料

■企 画 ボランタリーフォーラム TOKYO2026 実行委員会

■主 催 東京ボランティア・市民活動センター

■ア クセス JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手

地下鉄 有楽町線・東西線・南北線・

大江戸線 飯田橋駅 B2b出口



■ 参加申し込み方法

○「分科会19:関係性から見るボランティア～「ボランティア拒否宣言」が訴えかけるものとは～」への参加を希望される方は、右のQRコードからお申込みください。(同時にほかの分科会への参加も申し込みすることができます)

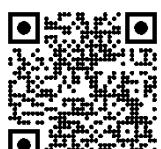
○参加費の支払いが完了すると、参加券がダウンロードできます。

○ホームページからのお申し込みが難しい方は、以下までお問い合わせください。

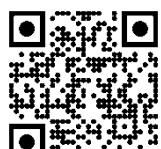


[お問い合わせ・お申し込み先] 東京ボランティア・市民活動センター 山添・高橋・杉山・吉田
〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階
TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050 HP <https://www.tvac.or.jp/vf/>

Facebook



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube

